

妹ワカラセ・マドス

R-18
ADULT ONLY!

は？Hの練習させる？ヤッパッw
キモすぎなんですけどww
まあこの超大人気お取り寄せプリン
食べ終わるまでなら何してもいいよ。
はい残念w寸止め作戦大成功ww
ご愁傷様ぶぶのぶw
え？ちよっと!?なに入れようとしてんのよ！
そんなバカデカいの入るわけないでしょ!!



秒殺狸団
Byousatsu Tanukidan

びようさつたぬきたん

マドロスメイトシリーズ©

おやくそく(必読)

この作品はフィクションであり、
実在する人名、地名、団体とは一切関係ありません。

本書は不道德な内容を多く含みます。
未成年者の購読を堅くお断りしております。
当たり前の事ですが、現実で真似した場合
法律で裁かれ、厳しく罰せられます。
絶対に行わないでください。
また成人の方であっても、
創作と現実の区別が付かない方は
本書を購読しないようお願いします。

○外国の方へ

私は日本国内の倫理感を重視、また尊重し、
我が国の表現の自由の範囲で創作活動を行っております。
これが必ずしも国外で通用するとは考えておりません。
私の作品を所持する事で起こる、海外でのトラブルへは
一切責任を持ちませんし、関知もいたしません。
自国の法律をお守りください。

個人利用目的の範疇から外れた複製や
不特定多数へ公開するインターネットへのアップロードは禁止いたします。
これらに違反すると刑罰や罰金、またその両方の対象となりますので
くれぐれも行わないでください。

これら全てに同意頂ける方のみ、本書をお読みください。
またお読み頂いた方は同意したものと判断します。

あゆみ頼む！
一生のお願いだ！
やらせてくれ！！

兄貴の頭が
ぶっ壊れた。

なんか明日
こいつの女がここに来るから
その前に片の予行演習させる
とかほざいてる。

「それ妹に頼む事？
DTキモすぎなんですけど」

無論口ハでは
言わん！！

まあなんか
面白そうだから
ちよつと遊んで
やるっかな。

「負け犬&DT確定
お・に・い・ちゃんw」

「こんな
がつついてると
ひやくぱー失敗するし」

3個セットの1つ
おまえにやるから

「なにになに？
これ餌に連れ込んでバコろうっての？
必至すぎキツモwウケるww」

「ちよそれ、あゆみが大好きな
富田屋のお取り寄せ限定プリンじゃん！！」



「じゃあ、このプリン
食べ終わるまでなら
何したっていいよ♡」

ちょ、おまっ
もう一口
食ってんじや
ねーか!!

「文句言うなら
やらせないけど」

くそッ!!

「3:2:1
はいスタート!!」

うあああああ!?

ザッコッ
マジウケるW

「あ♡やば
バカうまつ♡」

「富田屋マジ神♡
止まんない♡」

ぷぷっW

経験豊富なあたしが
そんなんで滞れると
思ってたの?

撫でてる
だけじゃんW

あれ?この感じ??



え？あれ？
いまイツた？

いやイクわけない
そもそも
イツたことないし…

やばっ
あたしめっちゃ
濡れてんじやん

うあ…
脱がされてるの
ぜんぜん
気付かなかった



「あっちゃんね
おまた
ムズムズするの…」



「にーにーの
なでなで
きもちーね」



「だーいすき♡」

「にーにー!!!」

なにこの記憶





もうだめ
おかしくなる!!
あっはあああああ♡



「っす」



「ははっ、この程度?
よゆーで耐えたわ!!!」

ヤバっ



「どうやら
あたしの勝ち」

一瞬意識
ふっ飛んでた



「みたい……」

「ね……!?」

ま……ま……ま……ま……
ち……ち……ち……ち……
な……このデカいの!?
彼……の倍くらいない??

は……あ……?
入……れる……つ……もり……?

う……そ……で……し……よ……?

「はい勝ち!
寸止め大成功
ご愁傷様でした
ふ……ふ……の……ぷ……う……!」

そ……ん……な……の
入……れ……た……ら……—

マ……ン……コ
ぶ……っ……壊……れる……っ……て……!

ガ……バ……マ……ン……に……な……っ……た……ら
彼……に……殺……さ……れ……る……わ……!!

「妹に挿入できるとか
マジで思った?」

「きつしよww
ヤッバww」

「明日まで」

「ドーテー確定w」

「ぎやははは
ははははは」

「まあ今日の事、ママには
内緒にしようってあげるから」

「しばらくお小遣い
半分ちよくだいね♡」

「まだだ」

「は?」

げげッ!?
さっき
落としたの!!

「いや、兄貴も二回
食べるかなwww」

「食べないと
終わらんぞ」

「いやいやいや
明日の楽しみに
とっときなよ?
ね?」

「やだよ!!
落ちたのなんて!
フケツじゃん!!」

「じゃ続行」

「まあ彼女さんも
びびって
逃げ出すと
思うけどww」

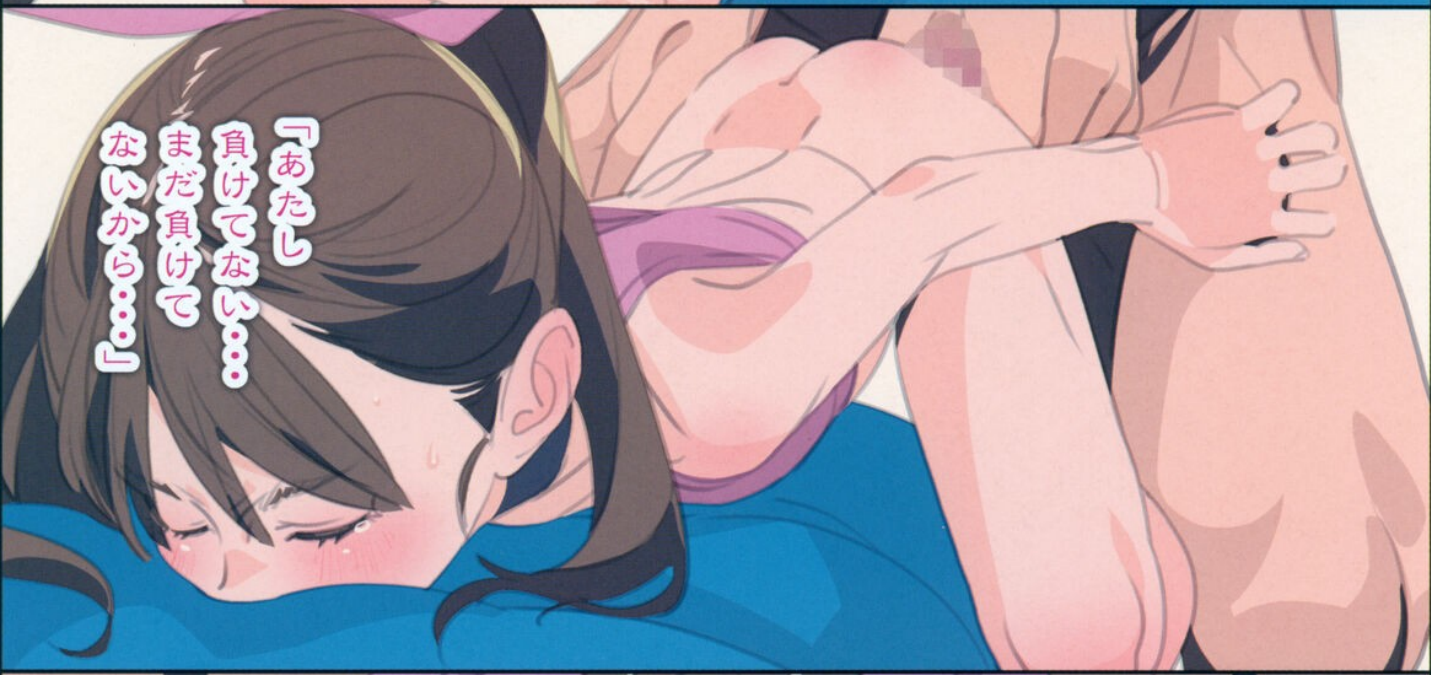


「つか、妹相手に
バキバキに
おっ立ててんじや
ねーよバーカ!!!」



「おまわりさん!!」

「おまわりさん助けて!!
兄にレイプされます!!
ぎゃあああああ!!」



「あたし
負けてない...
まだ負けて
ないから...」



負けな...!!

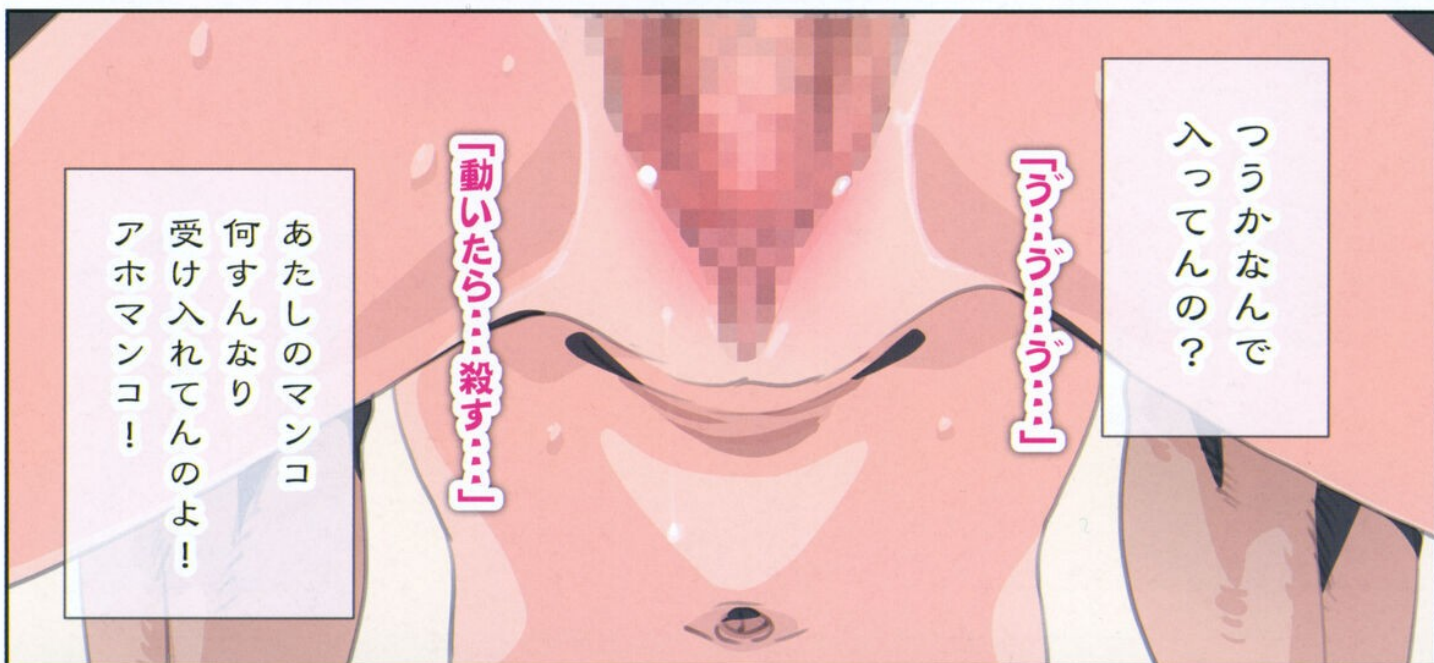
「ひぐっ!!」



やっべ
最っ高

い……
入れやがった……

「……」



つかなんで
入ってんの？

「う……う……う……」

「動いたら……殺す……」

あたしのマンコ
何すんなり
受け入れてんのよ！
アホマンコ！



そういや
かれぴとの
初日も全然痛くなかったな……

「あ……♡」

「あん♡」

「だから動いちゃ
……♡……♡……♡」

「あ♡♡」

「あ♡♡」

「あん♡♡」

「そんな事ないよ？
初めてだよ??」

「おいおい中古かよクソビッチ!!」

やば…
あたまバカに
なりそうなくらい
きもちいいんですけど

「あっ♡」

「あっ♡」

「あっ♡」

あたしのマンコと
兄貴のチンポ
相性良すぎじゃん

うそ…
さっきイッた
ばっかなのに…
もう…

「ういっぐん♡」

あたし
初めてチンポで
イカされちゃう!!

俺も

「…ういっぐん♡」

「いんぐういんぐん♡」

「はあはあ…♡
秒でぶっばとか
…ださっ…」

イッちやった…
兄貴と一緒に
イッちやった
信じらんない…

「ウッでしょ？
まだやんの？」

まだ
1発目だろ

「ソーローのクセに
必死すぎてきつしょw」

やっぱ
力はいんない

ずいずい

あゆみだって

くぱっ

なんで？

とっっ...

ねーなんで??

なんでチンポ
擦り付けただけで
あたしのマンコ
ウエルカム状態に
なってんのよ!!

体は嫌がって
ねーぞ

「いやんっ♡」

もうノールックで
チンポ
入れられてんじゃん!!



「あっ♡」

「もうだめっ♡」

「もうわけ
わかんない♡」



「チンポ
きもちいい♡」

「あゆみ？」

「兄貴の動き全部
全部きもちいい♡」

「もっと
もっとチンポ♡」



「あっ♡」

「にーにーの
極太チンポ♡」

「あっちゃんの
マンコ」

「じゅぼじゅぼ
してえええ♡」

「あっ♡」

「あっ♡」

「あゆみ
思い出した？」

「え？」

「思い出す？
……あっ！」

最初は指だった



それは確認してる

なのでしばらくは
指が入ってると思ってた



パパとママが離婚して
ママが仕事に
行くようになった



兄妹二人きりの
時間が増えた

兄貴は成長期で
一気に身長が伸びって
その頃になると
もうなに入ってるのか
分からなくなってた



ああそうか
あたしは
兄貴に犯されてたのか



「じゃー今度は
あっちゃんが動く番ね」

え？じゃ、ちょっと
試してみたいの
あるんだけどいいか



「ちよつと
ドキドキする♡」

「なにになに？」



囁むなよ

うお、やっぱ
俺も興奮してきた

いや違うな
あたしの方が
誘ってた気がする…



「にーにー
はやくおまたじゅぼじゅぼして
あっちゃんガマンできない♡」

さつきも
やってやったじゃん

「あ♡」

「あ♡」

「じゅぽじゅぽ
気持ちいいの♡」

あゆみ
動きすぎだつて!!

この感触で
全部分かった

あたしのマンコ
兄貴専用になつてた

「無理♡」

「止まんない♡」

「止められないよあ♡」

だからあゆみ!
動きすぎだつて!!

「うっさいバカにーにー!!
やっと全部
思い出したんだから
ちゃんと味あわせろ!!」

ぐあッ!!

もー、なんであたし
こんな気持ちいいの
忘れてんのよ!!



お腹の中も
子宮の中も

にーにーで
るるるるるる



頭の中ぜんぶ
にーにーとのセックスで
いっぱいにするんだ



もつと繋がって



もつと
きもちよくなつて



もー絶対
忘れてやるもんか



家事も、宿題も
ママの小言も
彼ピのDVも
ぜんぶぜーんぶ
忘れて
にーにーチンポ
一日中突っ込んでたい

やなことなんて
セックスで
にーにーとの
セックスで上書きするの
全部忘れるの

「それ好き、それ大好き♡
わかってんじゃん
全部わかってんじゃん
あたしのイイところ♡」

「イク…イクの…♡
して…
ぴゅってして…
中に…なかにい…!!!」

くく
俺も!!

出てる…
にーにのせーし
あたしのマンコに
ドクドク出てる

さつき出された
ばっかなのに
久しぶりの感触

頭の中
ペアって破裂して
お腹の中いっぱい
幸せで膨らむこの快感

ああ、好き
にーにーとのセックス
大好きだよ

「やっ♡」

「やっほ
こうなったら
あんたたち」

「まだ
抜いちゃや♡」

ママ!!

殴り殺されるかと思ったが
彼ピと別れるって約束で
あっさり許された

兄貴と
彼女さんは
上手く行ったらしい

まあ
うちら兄妹の関係を
隠す為にも
その方が良いつて
ママが言ってた

あれ以来
兄貴と顔
合わせてない

だって目が合ったら
秒で合体したく
なっちゃうからね

大人の抹茶
大人のお茶

タイトル：「妹ワカラセ・マドロス」

発行日：2023年11月26日

発行者：佐伯達也

メール：saeki@usagidan.com

Twitter：tomita1988

印刷所：イロドリ様